

# 大淀町

## 企業誘致による雇用創出



### 1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 若者の移住・定住のため、安定した雇用が必要。また、安心して結婚・出産をするためにも、雇用の場を広げる施策が必要不可欠。
- ② 奈良県やハローワークと連携し就業促進を図るとともに、企業誘致等による外発型の雇用創出策を推進。

### 2 取組の概要

#### 企業誘致

- 企業立地条例に基づく助成金交付  
→助成金交付に際しての地域住民の雇用促進依頼
- 企業誘致PRイベントへの出展  
→助成金メニューのPR  
→町内不動産の紹介
- シェアオフィス、チャレンジショップ等の検討

### 3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

#### 企業誘致

- 平成20年度より条例設置
- 助成対象となった誘致事業所数は累計7社
- 助成対象となった誘致事業所の雇用者数は計169名  
(助成申請時報告)
- 今後も継続的に年間1社の誘致を目指す

詳しくは 大淀町ホームページ <https://www.town.oyodo.lg.jp>

## 大淀町

## 福祉・医療人材確保事業による雇用創出



## 1 雇用の場の確保に関する課題及び基本的な考え方

- ① 2025年（令和7年）には、37.7万人の人が介護サービスを受けることができないと言われている。本町では、平成29年度の現況調査の結果（42名の訪問介護員で605人の在宅生活を支えている現状）、令和7年を待たずして、いわゆる介護難民が存在する可能性を把握する。
- ② 本町の人材不足は、介護人材だけに止まらず、医療、障がい、子育てなど、あらゆる分野で課題。
- ③ このことから、さらなる少子高齢化が進展する将来を見据え、町がめざす「来たい、住みたい、住み続けたいまちおおよど」を実現するため、人材確保を行政課題と位置づけ、官民一体となった人材確保事業を実施。

## 2 取組の概要

**事業コンセプト：地域の人材は、地域で育む**

- 事業目標**
- ・ 即戦力の確保
  - ・ 医療・福祉分野のイメージアップ
  - ・ 将来の人材へのアプローチ
  - ・ 垣根を越えた連携

①平成30年度：町を中心とした「就職応援フェア」を開催

- ・ 組織横断的なプロジェクトチームの設置
- ・ 町の関係イベント『うまいもんまつり』との同時開催
- ・ 奈良県立大淀高等学校との連携
- ・ 行政ならではの周知活動（高進協などへのアプローチ）
- ・ 奈良県の補助金の活用

②令和元年度：南奈良総合医療センターとの協働実施

**新たな事業目標を設定**

- ・ **関係機関（関係者）それぞれがwinwinとなる事業をめざす。**
- ・ 前年度の実績（経験値）をもとに、道の駅との連携拡大を含め、南和広域医療企業団の健康フェスティバルとの同時開催。

③令和2年度：新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止

## 3 取組の効果 または 苦労した点や今後の課題

平成30年度成果：来場者約200人 受付人数 94人 就職者 2名  
 令和元年度成果：来場者約600人 受付人数 26人 就職者 1名  
 ※来場者人数は、健康フェスティバル参加人数

**【課題】**

- ・ 財源とマンパワーの確保
- ・ 関係機関との調整や意識の共有
- ・ 費用対効果による事業評価（事業のブラッシュアップ）

詳しくは 大淀町ホームページ <https://www.town.oyodo.lg.jp>